

ダムっ湖



2006.6.15
三国川ダム管理所発行



三国川ダム防災特集号



さくり博士 りっちゃん さくくん

今年の冬の魚沼地方は豪雪に見舞われ、各地に豪雪対策本部が設置されるなど、雪に対する災害が多い冬でした。

三国川ダムでも今年の冬は積雪量が4メートルを超えましたが、今では青葉が美しい季節となりました。

自然は、普段美しさや安らぎなどを与えてくれますが、時として人々に驚異を見せつけます。

最近では集中豪雨や地震の発生など、より防災に対しての意識の向上が必要とされています。

今回三国川ダム管理所では、6月1日から洪水期に入ったことから、皆様に三国川ダムが取り組んでいる防災業務を知っていただく為に、防災特集号を作成いたしました。

皆様に冊子をご覧いただき、防災の重要性を再認識していただければ幸いです。

平成17年の三国川ダムのお水対応について

近年の新潟県地方は、「地震」、「雪害」及び、「集中豪雨」と数多くの自然災害が発生し、各地に甚大な被害をもたらす、私達に自然の恐ろしさを見せています。

三国川ダムでも平成17年6月28日には、遅れていた梅雨入りと同時に新潟県地方を襲った活発な梅雨前線により大洪水となり、三国川ダムの管理を開始してから最大の流入量(1)となる、大出水に見舞われました。

6月27日昼より降り始めた雨は、28日明け方より雨脚が強まり、連続雨量254mmに達する大雨となりました。

この時ダムへの流入量は、28日13時30分に毎秒524 8m³を記録、ダムからの最大放流量は毎秒72 6m³であり、約1,145万m³の水を貯留し、毎秒452 2m³の洪水調節(2)を行いました。

仮に三国川ダムがなかったとしたら、五十沢川合流点下流の深沢橋地点では2mも水位が上昇しており、下流魚野川の小出観測所地点(魚沼市小出地先)では、40cmの水位が上昇していました。

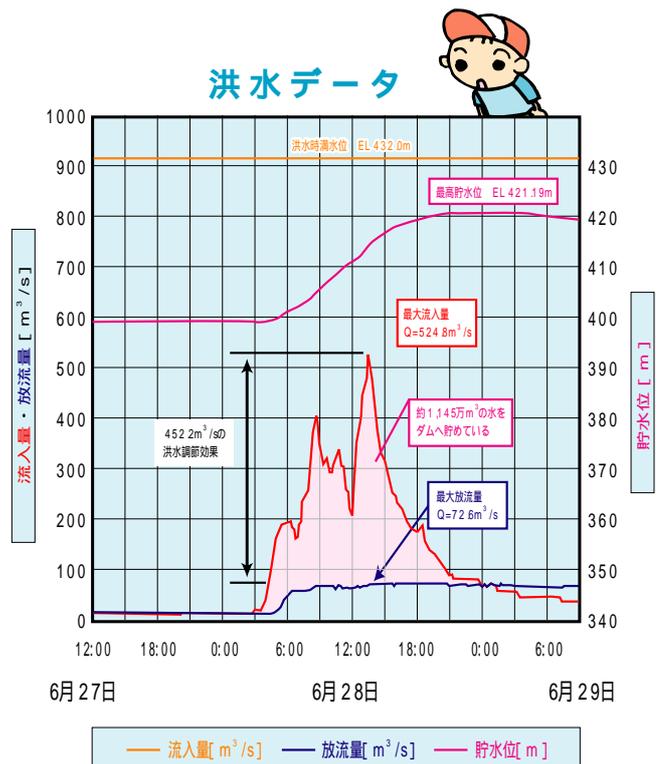
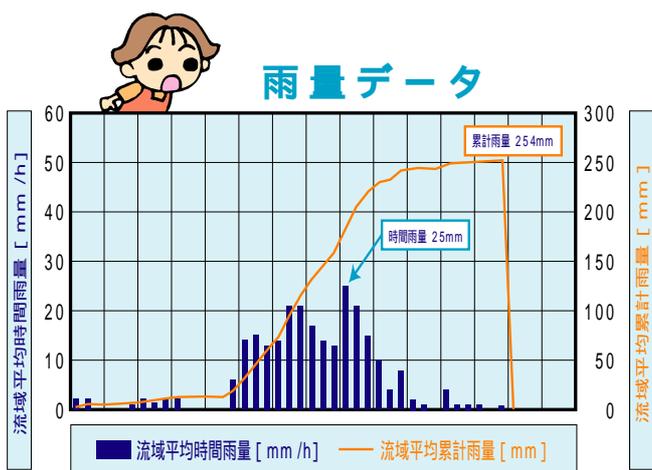
この出水では、深沢橋で橋脚が沈下する被害がありましたが、被害軽減に大きな効果を発揮し、ダム本体及びダムの各設備もトラブルもなく、無事所定の効果を発揮しました。

また上記の出水を含め、平成17年には13回も出水対応を行いました、いずれもトラブルもなく、所定の効果を発揮しました。

(1)上流河川からダムに流れ込んでくる水量

(2)「最大流入量 毎秒524 8m³」-「最大放流量 毎秒72 6m³」= 毎秒452 2m³です。

この水量は、縦25m×横15m×深さ約1 2mのプールが1秒間で一杯になる水量です。



1,145万立方メートル=小中学校のプール4万杯以上



三国川ダム放流に伴うサイレン吹鳴のご案内

日頃より、三国川ダムの管理に対しまして格別の御配慮頂き厚く御礼申し上げます。

さて、今年も梅雨期を迎え当管理所としてもダム管理に万全を期すべく体制を整えているところですが、洪水時には下記のとおりサイレンを吹鳴し、沿川の方々に注意を促す事となっております。

つきましては、サイレン吹鳴時には、御家族はもちろんのこと水遊びや魚つりで河原に出ている人達にも注意を促して頂けるよう御協力をお願いします。

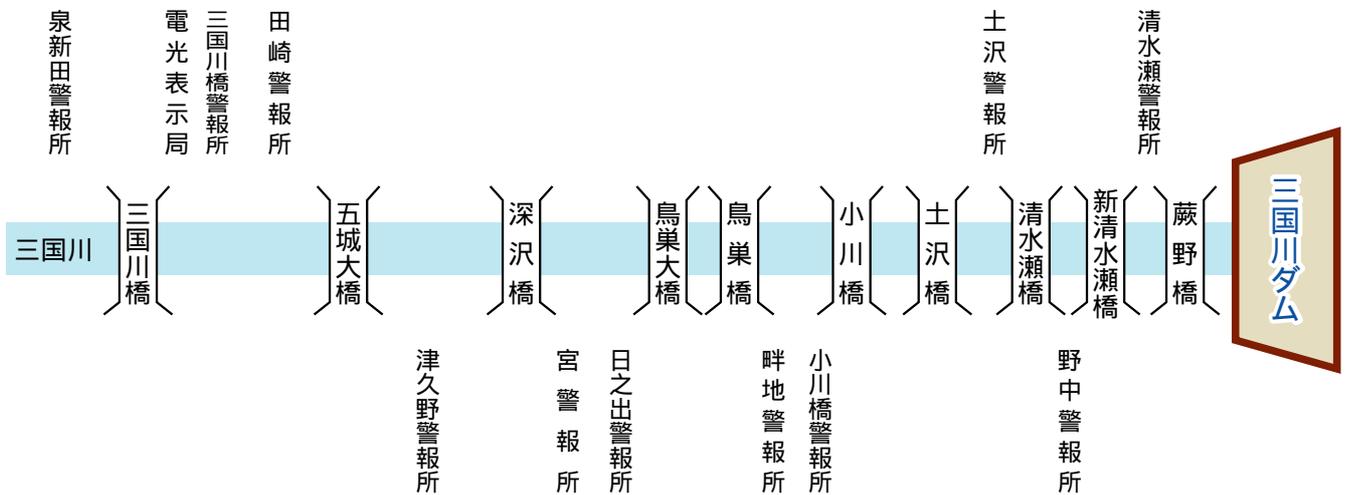
沿川の皆様には御迷惑をおかけしますが、何卒御理解の程、宜しく申し上げます。

--- 記 ---

- 1, ダム洪水吐からの放流を始める時は、ダム管理所のサイレン(疑似音)を吹鳴します。
あわせて全ての警報所及びパトロールカーより音声にて注意を促します。
- 2, 三国川でダムからの放流により急激な水位の上昇が予想される時は、全ての警報所及びパトロールカーよりサイレンを吹鳴します。
- 3, 6月～梅雨明けまでの間の平常時、ゲートの自動制御試験を実施します。

平常時(ゲートの自動制御試験中を含む)及び「1」のときはダムからの放流による水位の上昇は、30分間に30cm以下となるよう放流しますが、支川の影響により急激に水位が上昇することがありますので充分ご注意ください。

警報所位置



警報所



警報立札

